

<第2議案>

2018年度収支決算(案)

9～10ページの2018年度損益計算書(自2018年1月1日 至2018年12月31日)と貸借対照表(2018年12月31日現在)をもって、2018年度収支決算とする。損益計算書は、「一般会計」と2018年に設立した「次世代基金」に区分して示してある。

I 損益計算書

2018年度決算のポイントは以下の通りである。

1. 全体として

当初予算には含まれてなく、2018年に創設した次世代基金800万円を収益の部に組み入れた。2018年度の単年度の収支は約922万円の黒字となるが、次世代基金を除くと120万円の増となった。

2. 会費収入について

会費収入は対予算比約79万円の減収であり、予算額の約86%である。

3. 事業収入・支出について

「イアブック」2018年版の発行が12月初旬までに遅れた結果、見込んでいた書籍販売収入(140万円)のうち、達成できたのは約62万円である。

「講演・執筆」、「情報サービス・調査受託」は、ほぼ予算どおりとなった。

4. 寄付金収入、助成金収入について

寄付金収入は、大口の寄付があり目標額を大幅に超過達成された。

助成金収入は「よこはま夢ファンド」を活用し、大口の寄付を含む前年の寄付を確保しつつ、約30万円の新規の寄付により、目標(予算)の100%を達成した。

5. 費用の部

1. 事業費の支出全体としては予算執行率96%、2. 管理費支出全体としては予算執行率99%となった。

II 貸借対照表

以上の損益計算書を反映させた結果、2018年12月31日現在の正味財産は、約1268万円となる。